



日本若手精神科医の会主催 関東地域交流会 若手向クロザピン勉強会、情報交換会のお知らせ

日本若手精神科医の会 (Japan Young Psychiatric Organization: JYPO) では若手精神科医の若手精神科医の地域間の交流を促すために定期的に地域交流会を設けております。この度はクロザピンをテーマに関東地域交流会を開催することにしました。

本邦のクロザピンの使用量は樋口らによれば推定使用患者数は10万人あたり2.6人であり諸外国 (フィンランド189人、ニュージーランド116人、台湾88人) と比べて大きく遅れをとっています。¹⁾ これを受けて2020年度の診療報酬改定ではクロザピンの普及促進を目的に精神科急性期医師配置加算について、クロザピンの新規導入患者数の実績などを要件とした評価の類型を新設するなどし、クロザピンの普及を行おうとしています。²⁾

昨今の流れをうけて地域交流を兼ねてクロザピンについての勉強会、情報交換会を行うことにしました。クロザピン使用適正委員会の資料や論文などを用いながら演者及び参加者らの使用経験等に基づいて情報交換会を行えばと考えております。クロザピンを使用していて困ったことがある、クロザピンを使ってみたいけど何から始めればいいのかわからない、よくわからないけど興味があるから参加したい、いずれも歓迎いたします。

オンラインで行いますので関東在住でなくても構いません。下記QRコードから5月28日までにご応募頂ければ幸いです。

【対象】精神科臨床10年目以内の精神科医師、初期研修医、医学生
(応募者多数の場合関東周辺の方を優先する可能性があります。)

【開催日】6月3日(土)14時から16時(休憩含む)

【開催形式】Zoomによるオンライン開催

【参加費用】無料

【プログラム】・各自自己紹介・アイスブレイク(20分程度)

・座長: 埼玉県立精神医療センター 清水俊宏

・演題: 「クロザピンについて学ぼう」 千葉県精神医療センター 河岸嶺将
(発表(5~10分)→参加者とディスカッション(20分)を3回程度行う予定)

応募QRコード(5月28日まで)



1) NDBオープンデータに基づくクロザピン使用実態—NDBオープンデータでみた日本のクロザピン処方— 樋口早子、酒匂 赤人ら 精神神経学雑誌第124巻第1号(2022)p3-15

2) 令和2年度診療報酬改定の概要(精神医療) 厚生労働省

本公演について開示すべきCOIはなく、特に演者ら、JYPOはノバルティスファーマ株式会社より利益享受しておりません。